

本質的な問い

わたしたちは、どのように地域と関わりながら生きるか。

単元名

まちづくり学習 ～育った“まち”への恩返し～

児童生徒の実態

- ・自ら課題を設定したり、その課題を解決するための方法を考えることが出来ない生徒が多い。
- ・物事を順序立てて説明したり、分かりやすく伝えることが苦手な生徒が多い。

目指す具体の姿（育成を目指す資質・能力）

- ・地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、問題の解決に必要な知識及び技能を身に付けることができる。（知識・技能）
- ・情報を分析したり、調査結果を多面的・多角的に考察したりして自分の考えを的確に表現できる。（思考・判断・表現）
- ・互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとするすることができる。（主体性・協調性）
- ・環境を守ることの意義や価値を考え、自分ができることを考え行動しようとするすることができる。（規範意識・公德心）

単元を貫く問い

大きく育ててもらった呉のまちが活性化するためにどんなことができるか。

【探究課題 自ら情報を収集することで課題を発見し、その解決過程を説明する】

【第3次】（5時間）プレゼンテーション

課題 グループで考えた解決方法を相手に分かりやすく、論理的に伝えよう。

個別の問い

- ・どのような順番で話すのが効果的か。
- ・相手に自分たちの考えをタブレットを使って伝えるにはどんな工夫をすればよいか。
- ・実際にプレゼンしてみて、どうだったか。
- ・他のグループのプレゼンを聞いて、自身のプレゼンに活かせるところはあるか。
- ・どこを改善すればよいか。

タブレットの活用

夢議会で呉市中の中学生に伝えよう

視聴覚部会でのプレゼンテーションコンテスト

- （しかけ）相手に分かりやすく考えを伝えるための工夫を考えさせる。
- ・夢議会ででのプレゼンテーション
 - ・プレゼンテーションコンテストへの参加

【第2次】（8時間）課題解決のための計画立案

課題 呉市の課題を解決するための提案を考えよう。

個別の問い

- ・呉市の課題とSDGsの目標に関連性はないか。
- ・呉の地域の特産を活かした解決法はないか。
- ・予算はいくらくらいかかるか。
- ・いつ、誰が、何を、どのように行うか。
- ・どのような効果が見込めるのか。

タブレットの活用

- （しかけ）2年次に学習したSDGsを振り返りながら課題解決の方法を考える。
- ・SDGs 17の目標
 - ・呉市の課題を共有

見直しポイント

【第1次】（5時間）情報収集・課題発見

課題 呉市が抱えている課題を調べよう。

個別の問い

- ・呉市の人口はどのように推移しているか。
- ・どのような問題点があるのか。
- ・情報をどのように収集すればよいか。
- ・収集した情報は本当に正しいか。

タブレットの活用

- （しかけ）1年次に学習した『ものづくり学習』、2年次に学習した『ひとつづくり学習』を振り返り、その知識を『まちづくり学習』に活かす。
- ・地域の特産を活かしたものづくり、ひとつづくりを振り返る。
 - ・呉市、他市町のホームページの比較から見つける。

探究的な学習の過程に沿った単元構成

- ①単元を通して、資質・能力を育成する「探究課題」等を設定しているか
 - ・解決の道筋がすぐには明らかでない課題や、正解が1つとは限らない課題となっているか。
 - ・児童生徒が日常生活や社会に目を向け、解決したいと思える課題となっているか。
- ②児童生徒の思考を想定し、効果的な過程になっているか
 - ・活動をこなすだけになっていないか。
 - ・児童生徒から問いを生み出すしかけがあるか。
 - ・学習したことを表現する場を設定しているか。
- ③サイクルとサイクルのつながりがスムーズとなっているか
 - ・第1次だけで構成していないか。
 - ・第1次のまとめと第2次の課題設定が繋がっているか。